

192. マイコンの歴史と学び方

【問い】 生徒たちからマイコン指導の要望があります。マイコンの簡単な歴史、概略及び学び方について、アドバイスをお願いいたします。

【答え】 コンピュータは、近年まで処理能力により大、中、小型と、特定の処理を目標とした超小型（ミニコン）とに分類されてきました。

1971年インテル社（米国）は、全素子をLSI（大規模集積回路）化した極超小型コンピュータを発表し、マイクロ・コンピュータと呼ばれるようになりました。

国内では1977年、日本電気が一般向けのTK-80（はだかの組み立てマイコン）を発売、ベストセラーとなり、マイコン普及に貢献しました。

1978年を境に、国内外からBASIC言語（高級プログラム言語）で、操作の容易なマイコンが次々と低価格で発売され、TVゲームの流行とともに、小学生から高齢者まで幅広い愛好者が誕生し、マイコンと呼称されています。国産、外国製10数社から20万円前後で販売されています。

マイコンを学ぶ時、プログラム言語の選択が最初に問題となりますが、プログラム資料の豊富さと、一般への普及度の点から、BASIC言語から学ぶのがよいと思います。

そして、プログラムの学習にあたっては、簡単な例題とゲームを中心に楽しさのなかから学びとる配慮が大切です。むずかしさからの拒絶反応は、逆に生徒の大切な進路と将来にマイナスになると思います。楽しい演習を期待します。